

平成 25 年度決算
富加町の財務書類
(総務省方式改訂モデル)

平成 26 年 11 月
富加町

報告書に記載している金額や比率については、原則として表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、合計が100%になる比率については端数調整を行っております。また、各比較表における「差」の値は、表の各値の単純差引により計算しております。

1 新地方公会計制度導入の意義

公会計制度改革は、「発生主義・複式簿記」の考え方を導入することで、ストックやコスト情報の取得を可能にし「自治体の資産・債務改革などに資するツールの整備」を目指すものです。さらに、会計の範囲として普通会計のみならず、特別会計、地方三公社、一部事務組合、第三セクターなども含めた「連結ベース」で管理するものです。これにより、今までの自治体の会計では得られなかった、「連結ベース」でのストックやコスト情報の取得を可能にし、適正な「資産・債務管理」を目指すものです。

したがって、財務書類 4 表を作成すること自体が目標ではなく、この統一されたツールを使って各自治体が創意工夫した経営を行うことが必要です。そして、この財務書類 4 表を住民に対して開示することにより、透明性の向上や説明責任が履行されるとともに、資産・債務の適切な管理を行うことが可能となります。

2 財務書類の概要

1) 貸借対照表

今までに整備してきた道路、公園、学校など、行政の保有する財産の状況や地方債の現在高などの財政情報をよりわかりやすく提供するため、一定の時点において保有する資産の状況や、将来において負担することとなっている負債の状況を、ストック（保有）情報として総括的に表す財務書類です。

2) 行政コスト計算書

地方自治体の行政活動は、将来の世代も利用できる資産の形成だけではなく、人的サービスや給付サービスなどの行政サービスが大きな比重を占めています。行政コスト計算書は、1年間に実施された行政活動の状況をコスト（資源の消費）という側面から把握するものといえます。

行政サービスに要したコストを収入と対照表示するための一覧表で、行政コストの内容自体の分析を行うことを目的として、行政全般の活動状況をわかりやすく説明する財務書類です。

3) 純資産変動計算書

行政コスト計算書では、その目的がコスト計算であることから、民間企業の損益計算書の売上高にあたる部分には手数料や利用料などしか反映されていません。そこで、税込等の財源を純資産変動計算書に財源の増加として収容し、純資産の部の計算に含めています。

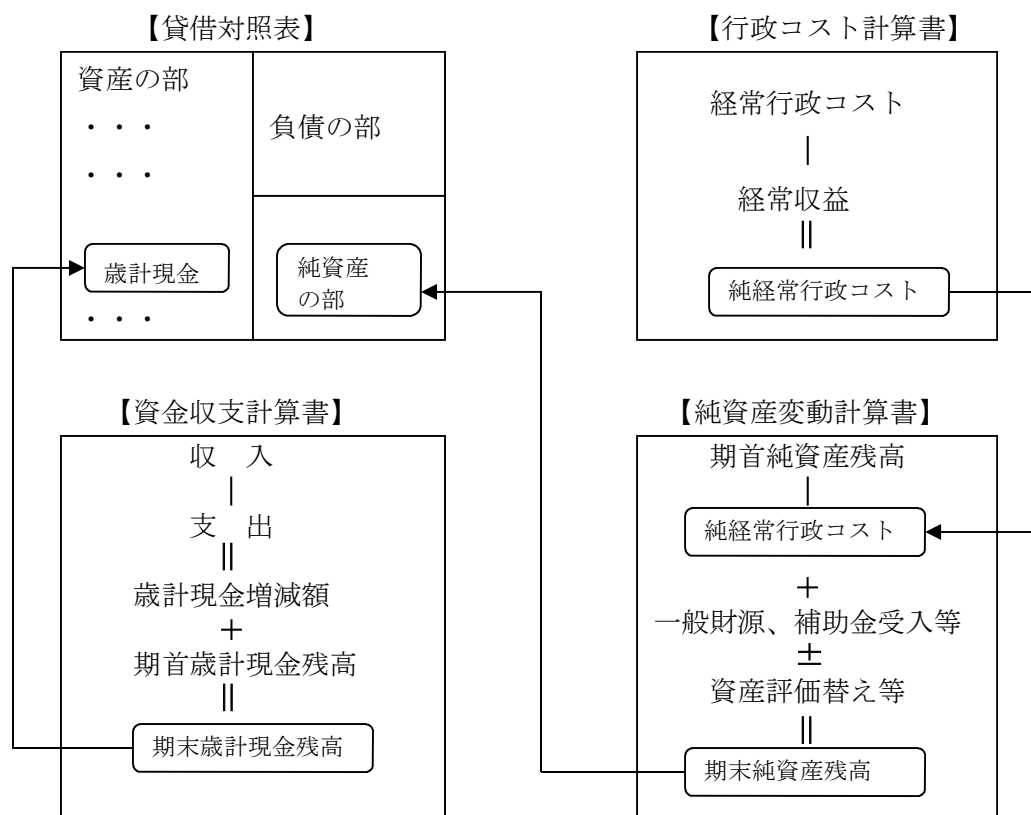
貸借対照表の「純資産の部」に関して、その各項目の期首（年度当初）からの変動履歴を表す財務書類です。

4) 資金収支計算書

資金収支計算書では、歳出をその性質に応じて大きく経常的支出、公共資産整備支出および投資・財務的支出の3つに区分し、それに対応する財源を収入として対応表示します。これにより、公共資産整備収支や投資・財務的収支の状況がどのようになっているのか、また、この2つの収支以外の部分として把握される経常的収支がどのような状況になっているのかを示して、資金の流れを表す財務書類です。

3 財務書類4表の関係

財務書類4表の相互の関係は次のとおりです。



貸借対照表の「純資産の部」の変動状況を表したものが、純資産変動計算書です。純資産変動計算書における純資産の変動要因の主なものが「純経常行政コスト」と「一般財源、補助金受入等」ですが、そのうち「純経常行政コスト」の明細を示すものが行政コスト計算書となります。

資金収支計算書は、歳計現金の動きを表す計算書ですので、「期末歳計現金残高」は、貸借対照表の「歳計現金」と一致します。

4 財務書類（普通会計）の状況

1) 貸借対照表の状況

① 資産

平成25年度では総資産は137.3億円であり、住民（H26年3月31日現在 5,753人）一人当たり約238万円になります。その大部分は道路、公園などの社会資本を中心とした有形固定資産113.7億円（住民一人当たり約197万円）であり、その他の資産では、投資等と流動資産に区分されている基金の合計が17.4億円、歳計現金が1.9億円等となっています。なお、前年度に対する主な増減内容としては、有形固定資産について0.6億円減少しました。これは3.9億円の減価償却費の計上がある一方、公共資産整備支出も3.3億円あったためです。また、退職手当組合積立金が0.8億円の減少となりました。

<住民一人当たり指標>

（単位：万円）

	平成24年度	平成25年度	差
総資産	244	238	△ 6
有形固定資産	199	197	△ 2

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
総資産	216	238	22
有形固定資産	176	197	21

*坂祝町は、固定資産台帳整備に伴う公正価値評価後の数値（以下同じ）

*富加町と坂祝町のH24年度とH25年度の人口は下表のとおりです。

	平成24年度	平成25年度
富加町	5,733人	5,753人
坂祝町	8,447人	8,398人

② 負債

負債の総額は30.9億円で、住民一人当たり約53万円になります。そのうち、地方債現在高は、固定負債の地方債と流動負債の翌年度償還予定額を合わせて25.8億円（住民一人当たり約44万円）となっています。退職手当引当金は、平成25年度末に退職した職員を除く平成25年度末現在普通会計に属する職員全員が普通退職したと想定した場合の必要額で、4.7億円になります。

なお、前年度に対する主な増減内容としては、地方債と退職手当引当金がそれぞれ約1億円の減少となっています。

<住民一人当たり指標 >

(単位:万円)

	平成24年度	平成25年度	差
負債総額	57	53	△ 4
地方債	47	44	△ 3

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
負債総額	38	53	15
地方債	31	44	13

2) 行政コスト計算書の状況

① 行政コストと収益項目

富加町の平成25年度の経常行政コストは22.8億円です。また、経常収益は0.9億円となっています。なお、平成25年度は前年度と比較して、「人にかかるコスト」が0.2億円減少、「物にかかるコスト」がほぼ横ばい、「移転支出的なコスト」が0.1億円増加していることなどにより、経常行政コストが0.1億円減少しています。

また、経常収益に関しても、前年度に比べてほとんど変動がなく、純経常行政コストも前年度と同程度の金額となっています。

② 性質別行政コスト

性質別の行政コストの構成では、「移転支出的なコスト」が44.4%を占めており、前年度と比較しても1.0ポイント増加しています。また、「物に関するコスト」も33.3%を占めており前年度と比較しても0.1ポイント増加しています。そして、この二種類のコストで経常行政コスト全体の約77.7%を占めています。

(単位:%)

構成比	平成24年度	平成25年度	差
人にかかるコスト	21.7	20.7	△ 1.0
物にかかるコスト	33.2	33.3	0.1
移転支出的なコスト	43.4	44.4	1.0
その他のコスト	1.7	1.6	△ 0.1

構成比	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
人にかかるコスト	19.0	20.7	1.7
物にかかるコスト	38.8	33.3	△ 5.5
移転支出的なコスト	40.3	44.4	4.1
その他のコスト	1.9	1.6	△ 0.3

③ 目的別行政コスト

目的別の行政コストについては、ウエイトの大きい順に「福祉」が6.4億円（28.1%）、「総務」が3.7億円（16.4%）、「教育」が3.2億円（14.2%）「生活インフラ・国土保全」が3.2億円（14.1%）などとなっています。

目的別行政コストに対する経常収益の割合は、「福祉」で5.0%、「環境衛生」で4.9%であり、それ以外は3.0%以下となっています。

<主要目的別コストの構成比率>

(単位：%)

構成比	平成24年度	平成25年度	差
生活インフラ・国土保全	13.9	14.1	0.2
教育	15.1	14.2	△ 0.9
福祉	28.0	28.1	0.1
環境衛生	7.7	7.2	△ 0.5
産業振興	10.0	10.6	0.6
消防	4.7	6.0	1.3
総務	17.2	16.4	△ 0.8
議会	1.6	1.9	0.3
その他	1.8	1.5	△ 0.3

構成比	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
生活インフラ・国土保全	10.2	14.1	3.9
教育	26.2	14.2	△ 12.0
福祉	29.6	28.1	△ 1.5
環境衛生	7.3	7.2	△ 0.1
産業振興	2.6	10.6	8.0
消防	6.4	6.0	△ 0.4
総務	14.1	16.4	2.3
議会	1.7	1.9	0.2
その他	1.9	1.5	△ 0.4

3) 純資産変動計算書の状況

純経常行政コスト21.8億円に対し、一般財源及び補助金等受入の合計が21.8億円であり、ほとんど同額となっています。また、売却可能資産の評価替え等によるマイナスの変動額が0.5億円計上され、その結果、前期末純資産107.0億円に比べ当期末の純資産残高は106.4億円となっています。

4) 資金収支計算書の状況

平成25年度の経常的な活動による資金収支では、6.5億円の資金増加がみられました。一方、公共資産整備活動による資金収支は2.5億円減少し、また投資・財務活動による資金収支においても3.6億円の減少となった結果、全体の資金収支（当該年度歳計現金増減額）は0.3億円のプラスとなっています。その結果、期末歳計現金残高が1.9億円となっています。

なお、前年度との比較で著増減のあった項目としては、支出では基金積立金が1.6億円の減少となり、収入では基金取崩額が1.0億円の増加となっています。

5 財務書類（普通会計）の分析

① 資産形成度

「資産形成度」とは「将来世代に残る資産はどれくらいあるのか」といった住民の関心に基づく分析の視点です。

○ 歳入額対資産比率

当該年度の歳入総額に対する資産の比率を算定することにより、これまでに形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するのかを表し、自治体の資産形成度合いを測ることができます。

平成25年度の値が若干大きくなりましたが、これは歳入総額が前年に比べて3.4%減少し、分子の資産合計も1.9%減少したことによります。

計算式： 資産合計 ÷ 歳入総額

歳入総額…資金収支計算書の各部の「収入合計」の総額と期首歳計現金残高の合計

※ 値が大きくなることは将来世代に残る資産が増加していることを意味します。

(単位：年)

	平成24年度	平成25年度	差
歳入額対資産比率	5.0	5.1	0.1

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
歳入額対資産比率	4.8	5.1	0.3

○ 資産老朽化比率

有形固定資産のうち、償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができます。平成25年度は公共資産整備支出が3.3億円ありましたが、一方で減価償却費が3.9億円計上されたため、前年度に比べて若干老朽化が進んでいます。

計算式： 減価償却累計額 / (有形固定資産－土地＋減価償却累計額)

※ 値が大きくなることは資産の老朽化が進んでいることを意味します。

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	差
資産老朽化比率	46.3	47.7	1.4

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
資産老朽化比率	59.5	47.7	△ 11.8

② 世代間公平性

「世代間公平性」とは「将来世代と現世代との負担の分担は適切か」といった住民の関心に基づく分析の視点です。

○ 純資産比率

企業の財務分析において、財務の安全性を測る指標として用いられる自己資本比率に相当するものです。資産合計に対する将来の返済や支出を伴わない純資産の割合ですから、高いほど財政が健全といえます。

また、純資産の変動は、将来世代と現世代との間で負担の割合が変動されたことを意味します。平成25年度の数値は前年度に比べてほとんど増減がありませんでした。

計算式： 純資産合計 ÷ 資産合計

※ 値が大きくなることは将来世代の負担の分担が減少したことを意味します。

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	差
純資産比率	76.3	77.5	△ 1.2

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
純資産比率	82.3	77.5	△ 4.8

③ 効率性

「効率性」とは「行政サービスは効率的に提供されているのか」といった住民の関心に基づく分析の視点です。

○ 行政コスト対公共資産比率

行政コストの公共資産に対する比率をみることで、どれだけの資産でどれだけの行政サービスを提供しているのか（資産が効率的に活用されているのか）を分析することができます。平成25年度は前年度に比べ0.1%増加となり、ほとんど変動がありませんでした。

計算式： 経常行政コスト ÷ 公共資産

※ 値が大きくなることは公共資産の活用度合いが上昇したことを意味します。

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	差
行政コスト対公共資産比率	19.3	19.4	0.1

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
行政コスト対公共資産比率	18.9	19.4	0.5

④ 弾力性

「弾力性」とは「資産形成を行う余裕はどのくらいあるのか」といった住民の関心に基づく分析の視点です。

○ 行政コスト対税収等比率

税収などの一般財源等に対する純経常行政コストの比率をみることによって、当該年度の税収等のうち、どれだけが資産形成の伴わない純経常行政コストに消費されたのかが分かります。

平成25年度が前年度に比べて2.0ポイント減少しているのは、税収等が前年比で1.7%の増加となる一方、純経常行政コストにほとんど変動がなかったためです。

計算式： 純経常行政コスト ÷ 税収等

税収等…純資産変動計算書の「一般財源」と「補助金等受入」の合計

※ 値が大きくなることは資産形成に対する余裕が小さくなることを意味します。

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	差
行政コスト対税収等比率	101.9	99.9	△ 2.0

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
行政コスト対税収等比率	108.7	99.9	△ 8.8

⑤ 自立性

「自立性」とは「受益者負担の水準はどうなっているのか」といった住民の関心に基づく分析の視点です。

○ 受益者負担比率

行政コスト計算書の「経常収益」は、使用料・手数料など行政サービスに係る受益者負担の金額であるので、これを「経常行政コスト」と比較することにより、行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を算出することができます。これにより、自治体の受益者負担の特徴を把握することができます。平成25年度は前年度に比べてほとんど変動がありませんでした。

計算式： 経常収益合計 ÷ 経常行政コスト

※ 値が大きくなることは受益者負担が増したことを意味します。

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	差
受益者負担比率	4.5	4.2	△ 0.3

	坂祝町(H25)	富加町(H25)	差
受益者負担比率	2.6	4.2	1.6

(参 考)

貸借対照表の構成

(1) 資産の部
①有形固定資産 ・昭和 44 年度以降の「地方財政状況調査表」の投資的経費である普通建設事業費の累計額から減価償却累計額を除いた額 ・減価償却は、総務省の「新地方公会計制度実務研究会報告書」で示された耐用年数に基づいて定額法により取得の翌年度から行い、残存価格をゼロとする（土地については減価償却を行わない）
②売却可能資産 ・売却可能資産は、現に公用もしくは公共の用に供されていない公共資産 ・売却可能価額で評価し、減価償却を行わない
③投資及び出資金 ・市場価格の無い出資金等については、実質価格を算出し、それが取得価格に比べ、30%以上低下した場合には、その実質価格により算出した金額により計上
④貸付金、基金 ・貸付金及び基金の現在高
⑤長期延滞債権、回収不能見込額 ・収入未済額のうち、前年度以前に発生した債権について「長期延滞債権」に計上 ・「長期延滞債権」及び「貸付金」のうち、将来回収不能となると見込まれるものを「回収不能見込額」に計上
⑥現金預金 ・流動性の高い基金である「財政調整基金」及び「減債基金」、形式収支に相当する「歳計現金」を計上
⑦未収金 ・収入未済額のうち、当年度に発生した債権について計上する、そのうち、将来回収不能となると見込まれるものを、「回収不能見込額」に計上

(2) 負債の部

①固定負債

○地方債

- ・年度末における地方債残高から、流動負債に計上する「翌年度償還予定額」を控除した額

○長期未払金

- ・年度末までに物件の引渡しもしくはサービスの提供が行われているものに関する、翌々年度以降の支出予定額

○退職手当引当金

- ・年度末に職員全員が普通退職したと想定し、その退職手当の要支給額を計上

②流動負債

○翌年度償還予定地方債

- ・年度末における地方債残高のうち、翌年度償還予定額を計上

○未払金

- ・年度末までに物件の引渡しもしくはサービスの提供が行われているものに関する、翌年度の支出予定額

○賞与引当金

- ・翌年度の6月に支払う予定の期末・勤勉手当のうち、当年度負担相当額を計上

(3) 純資産の部

①公共資産等整備国県補助金等

- ・公共資産及び投資等を取得する際に財源として国及び県から受けた補助金等（減価償却相当分を除いた分）の額

②公共資産等整備一般財源等

- ・公共資産及び投資等に対して投入された財源のうち、地方債や国県補助金等を除いた額

③その他一般財源等

- ・「純資産」のうち、上記①・②及び次の④「資産評価差額」を除いたものを計上

④資産評価差額

- ・「売却可能資産」の新規計上、資産の評価替、寄附等による資産の無償取得などにより、「純資産」を増減させる場合のその増減額

行政コスト計算書の構成

計上項目		内容
経 常 行 政 コ ス ト	人件費	給与費等から退職手当や前年度賞与引当金計上額を除いた金額
	退職手当引当金繰入等	退職手当組合負担金及び当該年度に引当金として新たに繰り入れた額(退職手当組合積立金の増減を考慮)
	賞与引当金繰入額	当該年度の貸借対照表に計上した賞与引当金の額
	物件費	旅費、光熱水費、委託料、備品購入費などの経費
	維持補修費	施設などの維持修繕に要する経費
	減価償却費	有形固定資産の経年劣化等に伴い、価値が減少したと認められる金額
	社会保障給付	障がい者や高齢者に対する援護措置、児童手当等の給付、生活保護などに要する経費
	補助金等	一部事務組合負担金や各種団体に対する補助金など
	他会計等への支出額	特別会計など他会計に対する繰出金など
	他団体への公共資産整備補助金等	投資的経費のうち、他団体等への補助金など(町の所有とならない資産が形成される場合)
	支払利息	地方債及び一時借入金の利子支払額
	回収不能見込計上額	町税や使用料などのうち、回収不能見込額として新たに貸借対照表に計上した金額及び当該年度の不納欠損額
その他行政コスト	上記以外の行政コストのほか、長期未払金及び未払金として新たに貸借対照表に計上した金額(社会資本形成に係るものを除く)	
経常収益	使用料・手数料 分担金・負担金 ・寄附金	当該年度の収入額と、長期延滞債権及び未収金として新たに貸借対照表に計上した金額

純資産変動計算書の構成

計上項目		内 容
純経常行政コスト		行政コスト計算書における純経常行政コスト
一般財源	地方税	町税の当該年度収入額 + 長期延滞債権及び未収金として新たに貸借対照表に計上した額
	地方交付税	地方交付税の当該年度収入額
	その他行政コスト 充当財源	地方譲与税、各種交付金、財産収入、繰入金、諸収入の当該年度収入額+長期延滞債権及び未収金として新たに貸借対照表に計上した額
補助金等受入		国庫支出金及び県支出金
臨時損益	投資損失など	投資及び出資金の時価又は実質価格が取得価格（決算書における残高）に比べ30%以上下落した場合の当該下落額など
科目振替	公共資産整備への財源投入	貸借対照表の公共資産を整備するために投じられた財源（充当された国・県支出金及び地方債の額を除く）の変動
	貸付金・出資金等への財源投入	投資及び出資金の取得、貸付金の貸付、基金の積立等に投じられた財源の変動
	貸付金・出資金等の回収等による財源増	投資及び出資金の処分、貸付金の回収、基金の取崩し等による財源の変動
	減価償却による財源増	減価償却により、公共資産等整備にかかる財源から、その他一般財源へ振り替わった額
	地方債償還に伴う財源振替	地方債元金償還額に負担した一般財源を、その他一般財源から公共資産等整備一般財源等へ振り替えた額
資産評価替えによる変動額		資産の評価替えを行った際の差額や、売却可能資産に新規・追加計上した額、市場価格のある出資金の時価評価による差額など

資金収支計算書の構成

(1) 経常的収支の部
<ul style="list-style-type: none">・ 経常的に行われる行政活動から発生する資金収支を計上する・ 具体的には、町税、使用料、手数料などの収入と、人件費、物件費、社会保障給付、支払利息、建物等の維持管理費などの支出を計上する・ 財政指標の一つである「経常収支比率」の考え方と同様で、「経常的収支の部」の黒字額が小さい場合には財政構造が硬直化していることになる
(2) 公共資産整備収支の部
<ul style="list-style-type: none">・ 支出には、自団体に整備する公共資産整備支出、他団体に補助金を支出して公共資産を整備する公共資産整備補助金等支出、他会計への繰出金や出資金等のうち建設費に充てられたものを計上・ 収入には、その財源となる国県補助金、地方債発行額などを計上・ 「公共資産整備収支の部」の不足額は、「経常的収支の部」の黒字額の範囲内に抑えることが望ましい
(3) 投資・財務的収支の部
<ul style="list-style-type: none">・ 支出には、貸付金、基金積立金、他団体等に対する出資、地方債の元金償還額、他会計の繰出金や出資金等のうち地方債の元金償還に充てられたものなどを計上・ 収入には、貸付金の返還金や公共資産の売却収入のほかに、上記支出の財源となった地方債などを計上

6 連結財務書類4表

1) 連結の範囲（連結財務書類を構成する会計・団体・法人）

連結の範囲は、自治体の普通会計及び公営事業会計、自治体が設立した地方三公社、自治体が加入している一部事務組合・広域連合、自治体が出資・出捐している第三セクター等となります。

2) 平成25年度における富加町の連結対象

富加町の平成25年度における具体的な連結対象は以下のとおりです。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 普通会計<ul style="list-style-type: none">・ 一般会計② 公営事業会計<ul style="list-style-type: none">1) 公営企業会計<ul style="list-style-type: none">・ 水道事業2) その他の公営事業会計<ul style="list-style-type: none">・ 国民健康保険事業・ 後期高齢者医療事業・ 介護保険事業（保険事業勘定、介護サービス事業勘定）・ 特定環境保全公共下水道事業・ 農業集落排水事業③ 一部事務組合・広域連合<ul style="list-style-type: none">・ 可茂衛生施設利用組合・ 岐阜県市町村会館組合・ 可茂消防事務組合・ 美濃加茂市富加町中学校組合・ 可茂広域行政事務組合・ 中濃地域農業共済事務組合・ 岐阜県後期高齢者医療広域連合④ 地方公社、第三セクター等<ul style="list-style-type: none">・ 富加町社会福祉協議会 |
|---|

3) 連結財務書類 分析 (年度間の比較)

① 住民一人当たり指標

(単位: 万円)

	平成24年度	平成25年度	差
1 総資産	402	391	△ 11
2 有形固定資産	332	338	6
3 負債総額	99	92	△ 7
4 地方債	86	81	△ 5

② 性質別行政コスト 構成比

(単位: %)

	平成24年度	平成25年度	差
1 人にかかるコスト	13.9	13.4	△ 0.5
2 物にかかるコスト	28.9	28.7	△ 0.2
3 移転支出的なコスト	54.4	55.1	△ 0.7
4 その他のコスト	2.8	2.8	0.0

③ 目的別行政コスト 構成比

(単位: %)

	平成24年度	平成25年度	差
1 生活インフラ・国土保全	11.1	11.1	0.0
2 教育	8.2	7.6	△ 0.6
3 福祉	55.1	55.0	△ 0.1
4 環境衛生	7.4	7.3	△ 0.1
5 産業振興	3.3	3.6	0.3
6 消防	3.7	4.4	0.7
7 総務	8.3	8.1	△ 0.2
8 議会	0.8	0.9	0.1
9 その他	2.1	2.0	△ 0.1

④ 比率分析

		平成24年度	平成25年度	差
1 歳入額対資産比率	(年)	3.3	3.3	0.0
2 純資産比率	(%)	75.3	76.2	0.9
3 行政コスト対公共資産比率	(%)	23.8	24.3	0.5
4 行政コスト対税収等比率	(%)	102.5	102.5	0.0
5 受益者負担比率	(%)	35.2	34.6	△ 0.6

4) 連結財務書類 分析 (普通会計との比較)

① 住民一人当たり指標

(単位: 万円)

	普通会計	連 結	差
1 総資産	238	391	153
2 有形固定資産	197	338	141
3 負債総額	53	92	39
4 地方債	44	81	37

② 性質別行政コスト 構成比

(単位: %)

	普通会計	連 結	差
1 人にかかるコスト	20.7	13.4	△ 7.3
2 物にかかるコスト	33.3	28.7	△ 4.6
3 移転支出的なコスト	44.4	55.1	10.7
4 その他のコスト	1.6	2.8	1.2

③ 目的別行政コスト 構成比

(単位: %)

	普通会計	連 結	差
1 生活インフラ・国土保全	14.1	11.1	△ 3.0
2 教育	14.2	7.6	△ 6.6
3 福祉	28.1	55.0	26.9
4 環境衛生	7.2	7.3	0.1
5 産業振興	10.6	3.6	△ 7.0
6 消防	6.0	4.4	△ 1.6
7 総務	16.4	8.1	△ 8.3
8 議会	1.9	0.9	△ 1.0
9 その他	1.5	2.0	0.5

④ 比率分析

	普通会計	連 結	差
1 歳入額対資産比率 (年)	5.1	3.3	△ 1.8
2 純資産比率 (%)	77.5	76.2	△ 1.3
3 行政コスト対公共資産比率 (%)	19.4	24.3	4.9
4 行政コスト対税収等比率 (%)	99.9	102.5	2.6
5 受益者負担比率 (%)	4.2	34.6	30.4

5) 普通会計と連結との主な相違点

① 資金収支計算書の資金の範囲

資金収支計算書の資金の範囲について、普通会計では「歳計現金」のみが資金の範囲に含まれますが、連結ではその範囲が広がり「財政調整基金」および「減債基金」も資金の範囲に含まれます。

② 投資及び出資金

貸借対照表の投資及び出資金について、普通会計では上水道事業会計等への出資も含めて計上されますが、連結では上水道事業会計等への出資は連結内での資金の移動と考え、これらへの出資は控除された結果で計上されます。

普通會計財務 4 表

貸借対照表
(平成26年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	2,335,924
① 生活インフラ・国土保全	5,783,313	(2) 長期未払金	
② 教育	2,737,716	① 物件の購入等	0
③ 福祉	691,079	② 債務保証又は損失補償	0
④ 環境衛生	62,537	③ その他	0
⑤ 産業振興	767,057	長期未払金計	0
⑥ 消防	254,613	(3) 退職手当引当金	474,858
⑦ 総務	1,077,248	固定負債合計	2,810,782
⑧ 建設仮勘定	0		
有形固定資産合計	11,373,563	2 流動負債	
(2) 売却可能資産	351,673	(1) 翌年度償還予定地方債	249,690
公共資産合計	11,725,236	(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	0
		(3) 未払金	0
2 投資等		(4) 翌年度支払予定退職手当	0
(1) 投資及び出資金		(5) 賞与引当金	30,355
① 投資及び出資金	21,651	流動負債合計	280,045
② 投資損失引当金	0		
投資及び出資金計	21,651	負債合計	3,090,827
(2) 貸付金	14,620		
(3) 基金等		〔純資産の部〕	
① 退職手当目的基金	0	1 公共資産等整備国県補助金等	1,718,705
② その他特定目的基金	170,869	2 公共資産等整備一般財源等	8,900,080
③ 土地開発基金	0	3 その他一般財源等	△ 179,306
④ その他定額運用基金	0	4 資産評価差額	208,619
⑤ 退職手当組合積立金	397,973	純資産合計	10,648,098
基金等計	568,842		
(4) 長期延滞債権	30,491		
(5) 回収不能見込額	△ 387		
投資等合計	635,217		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
① 財政調整基金	1,107,093		
② 減債基金	65,607		
③ 歳計現金	196,701		
現金預金計	1,369,401		
(2) 未収金			
① 地方税	8,954		
② その他	129		
③ 回収不能見込額	△ 12		
未収金計	9,071		
流動資産合計	1,378,472		
資産合計	13,738,925	負債・純資産合計	13,738,925

※1 有形固定資産のうち土地の現在高 2,092,149 千円
 ※2 有形固定資産の減価償却累計額 8,497,068 千円

※3 普通会計の将来負担に関する情報

普通会計将来負担額	4,459,964 千円
(内訳) 普通会計地方債残高	2,585,614 千円
債務負担行為支出予定額	42,797 千円
公営事業地方債負担見込額	1,655,006 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	99,662 千円
退職手当負担見込額	76,885 千円
第三セクター等債務負担見込額	0 千円
連結実質赤字額	0 千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円
基金等将来負担軽減資産	4,572,591 千円
(内訳) 地方債償還額等充当基金残高	1,361,211 千円
地方債償還額等充当歳入見込額	316,627 千円
地方債償還額等充当交付税見込額	2,894,753 千円
[差引] 普通会計が将来負担すべき実質的な負債	— 千円

行政コスト計算書
 〔 自 平成25年 4月 1日
 至 平成26年 3月31日 〕

【経常行政コスト】

(単位:千円)

		総額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能見込 計上額	その他行政コ スト
1	(1) 人件費	408,694	17.91%	18,447	63,470	68,395	12,785	25,556	4,838	180,307	34,896			0
	(2) 退職手当引当金繰入等	32,076	1.41%	1,448	4,981	5,368	1,003	2,006	380	14,151	2,739			0
	(3) 賞与引当金繰入額	30,355	1.33%	1,370	4,714	5,080	950	1,898	359	13,392	2,592			0
	小計	471,125	20.65%	21,265	73,165	78,843	14,738	29,460	5,577	207,850	40,227			0
2	(1) 物件費	339,696	14.89%	11,959	70,485	68,038	53,625	16,439	12,116	105,125	1,909			0
	(2) 維持補修費	21,072	0.92%	4,505	7,825	3,215	69	400	719	4,339	0			0
	(3) 減価償却費	399,261	17.50%	166,491	90,485	40,409	1,856	50,060	20,060	29,900	0			0
	小計	760,029	33.31%	182,955	168,795	111,662	55,550	66,899	32,895	139,364	1,909			0
3	(1) 社会保障給付	252,187	11.05%		1,037	251,150	0							0
	(2) 補助金等	359,343	15.75%	467	75,043	29,617	85,809	44,471	98,790	24,814	332			0
	(3) 他会計等への支出額	362,724	15.90%	109,800	0	169,320	7,904	75,700	0	0	0			0
	(4) 他団体への公共資産整備補助金等	40,554	1.78%	7,127	6,317	0	208	24,551	0	2,351	0			0
	小計	1,014,808	44.48%	117,394	82,397	450,087	93,921	144,722	98,790	27,165	332			0
4	(1) 支払利息	36,428	1.60%									36,428		0
	(2) 回収不能見込計上額	△ 740	-0.03%										△ 740	0
	(3) その他の行政コスト	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	小計	35,688	1.56%	0	0	0	0	0	0	0	0	36,428	△ 740	0
経常行政コスト a		2,281,650		321,614	324,357	640,592	164,209	241,081	137,262	374,379	42,468	36,428	△ 740	0
(構成比率)				14.10%	14.22%	28.08%	7.20%	10.57%	6.02%	16.41%	1.86%	1.60%	-0.03%	0.00%

【経常収益】

														一般財源振替額	
1	使用料・手数料 b	87,223		7,269	6,044	26,930	8,072	62	0	4,172	0	0		27,430	7,244
2	分担金・負担金・寄附金 c	10,270		599	345	5,110	0	264	0	3,597	0	0		0	355
経常収益合計 (b+c) d		97,493		7,868	6,389	32,040	8,072	326	0	7,769	0	0		27,430	7,599
d/a		4.27%		2.45%	1.97%	5.00%	4.92%	0.14%	0.00%	2.08%	0.00%	0.00%		0.00%	
(差引) 純経常行政コスト a-d		2,184,157		313,746	317,968	608,552	156,137	240,755	137,262	366,610	42,468	36,428	△ 740	△ 27,430	△ 7,599

純資産変動計算書

〔 自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日 〕

(単位:千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	10,705,210	1,728,957	8,870,204	△ 161,667	267,716
純経常行政コスト	△ 2,184,157			△ 2,184,157	
一般財源					
地方税	759,242			759,242	
地方交付税	915,159			915,159	
その他行政コスト充当財源	208,680			208,680	
補助金等受入	303,061	64,434		238,627	
臨時損益					
災害復旧事業費	0			0	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損益	0			0	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			207,485	△ 207,485	
公共資産処分による財源増		0	0	0	0
貸付金・出資金等への財源投入			10,726	△ 10,726	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	△ 15,040	15,040	
減価償却による財源増		△ 74,686	△ 324,575	399,261	0
地方債償還に伴う財源振替			151,280	△ 151,280	
資産評価替えによる変動額	△ 59,097				△ 59,097
無償受贈資産受入	0				0
その他	0	0	0	0	0
期末純資産残高	10,648,098	1,718,705	8,900,080	△ 179,306	208,619

資金収支計算書

〔 自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日 〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	486,342
物件費	339,696
社会保障給付	252,187
補助金等	354,287
支払利息	36,428
他会計への事務費等充当財源繰出支出	199,282
その他支出	21,072
支出合計	1,689,294
地方税	756,581
地方交付税	915,159
国県補助金等	233,789
使用料・手数料	87,223
分担金・負担金・寄附金	9,469
諸収入	39,727
地方債発行額	67,700
基金取崩額	100,000
その他収入	131,755
収入合計	2,341,403
経常的収支額	652,109
2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	332,680
公共資産整備補助金等支出	40,554
他会計への建設費充当財源繰出支出	10,515
支出合計	383,749
国県補助金等	69,272
地方債発行額	58,600
基金取崩額	0
その他収入	4,146
収入合計	132,018
公共資産整備収支額	△ 251,731
3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資額	6
貸付金	6,220
基金積立金	2,678
定額運用基金への繰出支出	0
他会計への公債費充当財源繰出支出	162,483
地方債償還額	248,366
支出合計	419,753
国県補助金等	0
貸付金回収額	5,500
基金取崩額	0
地方債発行額	4,500
公共資産等売却収入	43,451
その他収入	0
収入合計	53,451
投資・財務的収支額	△ 366,302
当該年度歳計現金増減額	34,076
期首歳計現金残高	162,625
期末歳計現金残高	196,701

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には、一時借入金の増減は含まれていません。
- ② 平成25年度における一時借入金の借入限度額は、100,000 千円です。
- ③ 支払利息のうち、一時借入金利息は、0 千円です。

※2 基礎的財政支出(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額	2,526,872 千円
地方債発行額	△ 130,800 千円
財政調整基金等取崩額	△ 100,000 千円
支出総額	△ 2,492,796 千円
地方債元利償還額	284,794 千円
財政調整基金等積立額	2,678 千円
基礎的財政収支	90,748 千円

連結財務 4 表

連結貸借対照表

(平成 26年 3月 31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方公共団体	
①生活インフラ・国土保全	12,423,609	①普通会計地方債	2,335,924
②教育	3,272,509	②公営事業地方債	1,893,805
③福祉	694,103	地方公共団体計	4,229,729
④環境衛生	884,643	(2) 関係団体	
⑤産業振興	767,378	①一部事務組合・広域連合地方債	78,459
⑥消防	360,335	②地方三公社長期借入金	0
⑦総務	1,078,013	③第三セクター等長期借入金	0
⑧収益事業	0	関係団体計	78,459
⑨その他	0	(3) 長期未払金	0
有形固定資産計	19,480,590	(4) 引当金	588,504
(2) 無形固定資産	70	(うち退職手当等引当金)	574,928
(3) 売却可能資産	352,762	(うちその他の引当金)	13,576
公共資産合計	19,833,422	(5) その他	0
2 投資等		固定負債合計	4,896,692
(1) 投資及び出資金	17,419	2 流動負債	
(2) 貸付金	14,620	(1) 翌年度償還予定額	
(3) 基金等	733,964	①地方公共団体	387,475
(4) 長期延滞債権	55,180	②関係団体	13,621
(5) その他	0	翌年度償還予定額計	401,096
(6) 回収不能見込額	△ 729	(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金を含む)	0
投資等合計	820,454	(3) 未払金	14,325
3 流動資産		(4) 翌年度支払予定退職手当	0
(1) 資金	1,829,939	(5) 賞与引当金	34,869
(2) 未収金	38,730	(6) その他	733
(3) 販売用不動産	0	流動負債合計	451,023
(4) その他	937	負債合計	5,347,715
(5) 回収不能見込額	△ 1,778	[純資産の部]	
流動資産合計	1,867,828	純資産合計	17,173,989
4 繰延勘定	0	負債及び純資産合計	22,521,704
資産合計	22,521,704		

連結行政コスト計算書

〔自平成25年4月1日
至平成26年3月31日〕

【経常行政コスト】

(単位:千円)

	総額	(構成比率)	生活インフラ・国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能見込計上額	その他
1	(1)人件費	570,724	11.8%	24,276	63,820	143,527	27,676	29,643	63,266	183,550	34,966		0
	(2)退職手当等引当金繰入等	41,994	0.9%	1,448	4,981	12,258	2,315	1,805	2,050	14,398	2,739		0
	(3)賞与引当金繰入額	34,869	0.7%	1,370	4,714	5,117	1,110	2,167	4,197	13,602	2,592		0
	小計	647,587	13.4%	27,094	73,515	160,902	31,101	33,615	69,513	211,550	40,297		0
2	(1)物件費	654,619	13.6%	95,423	90,507	144,221	179,833	19,748	16,899	106,028	1,960		0
	(2)維持補修費	39,804	0.8%	7,535	9,992	3,770	12,647	534	987	4,339	0		0
	(3)減価償却費	690,742	14.3%	393,402	108,432	41,771	41,015	50,062	26,117	29,943	0		0
	小計	1,385,165	28.7%	496,360	208,931	189,762	233,495	70,344	44,003	140,310	1,960	0	0
3	(1)社会保障給付	2,026,233	42.0%		1,940	2,024,293	0						0
	(2)補助金等	594,222	12.3%	467	76,847	247,049	86,392	44,482	99,454	39,199	332		0
	(3)他会計等への支出額	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	(4)他団体への 公共資産整備補助金等	40,554	0.8%	7,127	6,317	0	208	24,551	0	2,351	0		0
	小計	2,661,009	55.1%	7,594	85,104	2,271,342	86,600	69,033	99,454	41,550	332		0
4	(1)支払利息	97,133	2.0%								97,133		0
	(2)回収不能見込計上額	△ 205	0.0%									△ 205	0
	(3)その他行政コスト	38,800	0.8%	3,474	0	34,564	2	760	0	0	0		0
	小計	135,728	2.8%	3,474	0	34,564	2	760	0	0	97,133	△ 205	0
経常行政コスト a	4,829,489		534,522	367,550	2,656,570	351,198	173,752	212,970	393,410	42,589	97,133	△ 205	0
(構成比率)			11.1%	7.6%	55.0%	7.3%	3.6%	4.4%	8.1%	0.9%	2.0%	0.0%	0.0%

【経常収益】

													一般財源 振替額	
1 使用料・手数料	92,367		7,269	6,064	26,930	12,908	62	237	4,223	0	0		27,430	7,244
2 分担金・負担金・寄附金	1,013,727		25,701	345	759,397	57,508	5,320	0	8,362	3	0		0	157,091
3 保険料	251,292				251,292									
4 事業収益	277,051		82,915	0	71,275	119,690	3,171	0	0	0	0		0	0
5 その他特定行政サービス収入	38,502		6,807	0	25,311	5,840	544	0	0	0	0		0	0
6 他会計補助金等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
経常収益 b	1,672,939		122,692	6,409	1,134,205	195,946	9,097	237	12,585	3	0		27,430	164,335
b/a	34.6%		23.0%	1.7%	42.7%	55.8%	5.2%	0.1%	3.2%	0.0%	0.0%		0.0%	
(差引)純経常行政コスト a-b	3,156,550		411,830	361,141	1,522,365	155,252	164,655	212,733	380,825	42,586	97,133	△ 205	△ 27,430	△ 164,335

連結純資産変動計算書

〔 自 平成25年4月 1 日 〕
〔 至 平成26年3月31日 〕

(単位:千円)

	純資産合計
期首純資産残高	17,373,626
純経常行政コスト	△ 3,156,550
一般財源	
地方税	759,242
地方交付税	915,159
その他行政コスト充当財源	212,236
補助金等受入	1,192,497
臨時損益	
災害復旧事業費	0
公共資産除売却損益	△ 212
投資損失	0
収益事業純損失	0
損失補償等引当金繰入	0
出資の受入・新規設立	0
資産評価替えによる変動額	△ 58,983
無償受贈資産受入	0
その他	△ 63,026
期末純資産残高	17,173,989

連結資金収支計算書

〔自平成25年4月1日〕
〔至平成26年3月31日〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	666,698
物件費	656,912
社会保障給付	2,026,233
補助金等	589,166
支払利息	97,133
その他支出	71,790
支出合計	4,107,932
地方税	756,581
地方交付税	915,159
国県補助金等	1,101,071
使用料・手数料	92,367
分担金・負担金・寄附金	1,048,490
保険料	251,809
事業収入	277,183
諸収入	52,334
地方債発行額	67,700
長期借入金借入額	0
短期借入金増加額	0
基金取崩額	23,409
その他収入	93,777
収入合計	4,679,880
経常的収支額	571,948

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	443,267
公共資産整備補助金等支出	40,554
地方独立行政法人公共資産整備支出	0
一部事務組合・広域連合公共資産整備支出	0
地方三公社公共資産整備支出	0
第三セクター等公共資産整備支出	0
支出合計	483,821
国県補助金等	91,426
地方債発行額	91,825
長期借入金借入額	0
基金取崩額	0
その他収入	15,791
収入合計	199,042
公共資産整備収支額	△ 284,779

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	6
貸付金	6,220
基金積立額	927
定額運用基金への繰出支出	0
地方債償還額	405,497
長期借入金返済額	0
短期借入金減少額	0
長期未払金支払支出	0
収益事業純支出	0
その他支出	0
支出合計	412,650
国県補助金等	0
貸付金回収額	5,500
基金取崩額	0
地方債発行額	4,500
長期借入金借入額	0
公共資産等売却収入	45,655
収益事業純収入	0
その他収入	13,499
収入合計	69,154
投資・財務的収支額	△ 343,496

翌年度繰上充入金増減額	0
当年度資金増減額	△ 56,327
期首資金残高	1,891,224
経費負担割合変更に伴う差額	△ 4,958
期末資金残高	1,829,939

富加町総務課企画グループ

〒 501-3392

加茂郡富加町滝田 1511

TEL 0574-54-2111 (内線 172)